

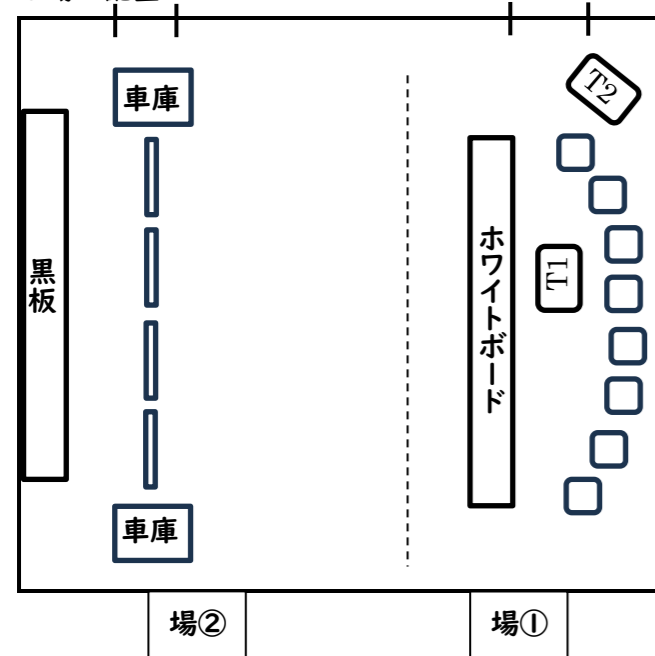
# 授業づくりシート

領域名 自立活動

学年 I

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| テーマ          | 電車をつなげ！   |   |
| 事例児の実態       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手本や友達の様子を見てから活動に取り組むことで、一人でできることが多い。<br/>(環境の把握)</li> <li>・気持ちが高ぶると教室内を走り回り、その場にいることが難しくなる。<br/>(心理的な安定)</li> <li>・教師への関心はあるが、友達への関心は薄く、一緒に何か活動をする様子はない。活動では、自分のことや順番が終わるとその場から離れてしまう。<br/>(人間関係の形成)</li> </ul> |   |
| 事例児の個別目標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉かけや支援を受けて、友達と一緒に簡単なゲームに取り組むことができる。<br/>(人間関係の形成)</li> <li>・活動内容がわかり、落ち着いて参加することができる。<br/>(心理的な安定・環境の把握)</li> </ul>  |   |
| 活動内容と具体的な手立て |   |   |
| 活動内容         | ねらい   | 具体的な手立て   |
| 電車をつなげ！      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に活動することができる。</li> <li>・落ち着いて参加できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・始めに映像や友達の様子を見て、活動内容がわかるようにする。</li> <li>・教師の言葉かけや称賛を適度に行い、気持ちが高ぶりすぎないようにする。</li> <li>・座る椅子に人工芝を置き、椅子に座っている間も落ち着いて過ごせるようにする。</li> </ul> |

## ○場の配置



## ○教材教具等

・スライダー 8本



・電動で動く電車



・車庫 (かごと段ボール)



## ○展開

| 時配    | 活動内容   | 教師の支援等   |
|-------|--|--|
| 9:50  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○始めの挨拶</li> <li>○名前<br/>・名前を呼ばれたら、名札カードをフックにかける</li> <li>○活動内容の確認<br/>・ゲームをするときの自分の位置や約束を確認する。</li> </ul> <p>—場②に移動する—</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員が着席し、前を向いていることを確認してから挨拶をする。(T1)</li> <li>○目線を合わせて呼名をする。(T1)</li> <li>○誰がどの位置につくかを小さいホワイトボードに顔写真を貼って、活動の場でも見てわかるようにする。(T1)</li> </ul> |
| 9:55  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○電車をつなげ！</li> <li>・誰がどの役割につくのかを確認する。</li> <li>・コの字型のスライダーを一人一つ持ち、電車が落ちないように次の人のスライダーにつなぎ、最後の人は車庫に入れる。</li> </ul> <p>—場①に移動する—</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○保持することが難しい場合には、友達のスライダーと連結させて、一緒に持つことができるようにする。</li> <li>○児童が落ち着いて活動ができるように、過度な称賛はせず、笑顔や動作サインで伝える。(T1、T2)</li> </ul>                   |
| 10:00 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別課題</li> <li>・指先の巧緻性を高める課題や目と手の協応を促す課題に取り組む。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別に今日の課題ボックスの色を確認する。自分で出して着席し、始められるように促す。(T1、T2)</li> </ul>  |
| 10:10 | ○終わりの挨拶  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員が着席し、前を向いていることを確認してから始める。(T1)</li> </ul>   |

## ○成果と課題

○電池で動く電車を使ったことで、興味をもって取り組む児童が多かった。待っている児童も電車の動きが見えるように、透明のシートを貼った窓を付けたことで、注目することができていた。

○スライダーのつなぎ目に半円の印をつけ、つなげると円になるようにしたことで、友達とスライダーをつなげることを意識する児童がいた。

○集団で一つのことに取り組むことが難しい児童もいたため、集団の中で個々に活動する場を設けた。くじ引き形式で毎日使用する物が変わるようにしたが、どの児童も様々な課題に集中して取り組むことができた。

△電車だけでは飽きが見られたので、児童が好きなキャラクターのイラストを電車に貼り、運ぶようにすると変化が見られてよかったが、スライダーの中を通す物自体を変えてもよかったのではないかと考えた。